

JOSEI KANAGAWA

浄青神奈川



大本山光明寺法主宮林昭彦台下御染筆



大本山光明寺 宗祖法然上人八百年大御忌記念事業 大聖閣

会長挨拶	2
宮林台下・夏見教区長挨拶	3
前会長退任挨拶	4
行事報告	5
執行部紹介	6
各組紹介	8
事業報告	10
卒業・新入・出向者紹介	11
平成22年度事業計画	12

第20期テーマ

「精進不断」

～受け継ぎ、伝えてゆくために～

第18代会長 當間 伸行

「精進不断」

「受け継ぎ、伝えてゆくために」

第二十期浄土宗神奈川教区青年会

第十八代会長

當間 伸行



この度、第二十期浄土宗神奈川教区青年会・第十八代会長に就任いたしました、鎌倉組延命寺當間伸行でございます。もとより浅学非才の身でございますが、諸大徳の指導と会員の皆さんのご協力を頂戴し、精一杯つとめ、任期を全うしたいと思っておりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

さて、平成二十三年には、法然上人800年大遠忌を迎えます。我々青年僧侶は、どのように800年大遠忌を迎えるべきか、そして何をすべきかと考え、今期のテーマを「精進不断」に受け継ぎ、伝えてゆくためにと掲げました。

法然上人のお念仏のみ教えをしっかりと受け継ぎ、現代に、そして未来に伝えてゆくためには、我々ひとりひとりが、積極的に法然上人のみ教えを発信していくことが必要だと思えます。日々たえず精進につとめ、自らを高め、堂々と教化にあたっていくことが重要と考えました。

今期は、予定しているさまざまな浄青活動の全てを、精進のための行ととらえております。会員が活動を通じ、浄土宗僧侶の基本であるお念仏の行は勿論のこと、さまざまな経験を積み、見聞を

広めることによって、宗教者としての素養の幅を増し、自信を持って法然上人のみ教えをお伝えできるとなることを、活動の第一の目的といたしました。

また、会員一同が事業を通じて一体感を味わい、浄青での経験をお互いの記憶に残すことにより、将来に向けても和合し、時代や社会が変化しても、一致団結して浄土宗の教えを発信できる体制を整えることにつながると確信いたしております。

具体的には、800年大遠忌記念事業として、平成二十三年二月七日（月）に、大本山光明寺様にて「八百礼拝」を行います。肉体的にはつらい事業となりますが、お念仏の尊さを皆で受けとめ、記憶に残したいと願っております。

もうひとつの記念事業として、平成二十三年度に、研修旅行を行います。例年一泊二日の「他宗団見学」を行っておりますが、今回は二泊三日で、参拝しにくい寺院へ足をのばすなど、内容の充実をはかる予定です。

また、「大別時念仏会」を開催いたします。これまで三回の開催では、会員が自坊の檀信徒に声をかけ、大勢の皆様にご参加いただいております。この大別時念仏会は、「自行」としては勿論、集まった檀信徒にお念仏の尊さをお伝えするとともに、一心にお念仏を称える青年僧の姿を見ていただくことにより「化他」を実現し、ともにお念仏をお称えることで「和合」がはかれます。これにより諸先輩から受け継いできた「自行・化他・和合」の「浄青三信条」をひとつの事業ですべて達成することが出来ると考えております。

その他には、活動テーマに基づき、自己研鑽の目的で、「精進道場」と題した年四回の研修会を、宗乗・法式・余乗を内容に行います。平成二十二年年度の宗乗は、浄土宗教師としての責務を再確認し、会員が自信を持つてお念仏のみ教えを発信していくことができるようにしたいと考えております。法式と余乗は、青年僧として学ぶべきこと、教化に役立つ内容を学びたいと思っております。

教区長杯争奪ソフトボール大会、大本山光明寺

様への清掃奉仕、十夜托鉢、忘年会なども企画しております。

また、平成二十四年度には、「関東ブロック浄土宗青年会総会並びに研修会」を当会が担当いたします。二年後の開催ですが、一大事業となりますので、今年度より準備をはじめてまいります。

現在、浄青が抱える問題として

では、会員数の減少と、参加者が決まった顔ぶれになっていくことがあります。浄青の未来のためにも、できるだけ多くの会員に参加を呼びかけたいと思えます。事業の内容を充実させるとともに、お互い積極的に声をかけ、誘い合うことが必要だと思えます。そして、初参加の会員を温かく迎え、今後ともに活動していられるよう、心がけてまいります。

会員ひとりひとりが、心をあわせて、たえず精進することを忘れず、浄土宗の、そして仏教の未来を築きあげていきたいと思っております。

浄青活動には、ご寺院諸大徳のご支援が不可欠です。浄青活動へのご理解ご協力を賜りたく、重ねましてお願い申し上げます。また、十八歳から四十三歳までの僧侶並びに寺院の方がいらっしゃいましたら、ぜひご入会をおすすめくださりたく、お願い申し上げます。

参加してみたい、参加してよかった、と思える浄青活動をめざしてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、何とぞよろしくお願い申し上げます。



定期総会にて



日々新たに生きる―共生精進―

大本山光明寺法主 宮林昭彦 台下

神奈川浄青におかれては新年度を迎え、第二十期会長に當間伸師が就任され、新役員によって新体制がスタートされました。大きな期待と共に心から慶賀に存じます。テーマは「精進不断」と承り時宜を得た言葉として未来に継続されるべきことです。曾て老納が学生時代に当時大正大学学長、増上寺法主権尾弁匡先生が、「仏法とは生きること、三宝に帰依して明るく正しく伸びて生きることである。真に生かされて生きること、共に生きることである。仏道は精進すること、往生とは不断に、日々新たに生きぬくことである。」と仰言ったことは、未だに強烈なインパクトとして心に響いています。

浄土宗が法然共生をターゲットに推進されているとき、あらためて「共生運動」を提唱された先師権尾先生を思い出しました。この「共生」は仏教の縁起思想を根底として、共生の思想は、大自然との共生、人類の精進いたしましたように。



未来を託す神奈川浄青へ

神奈川教区教区長 夏見邦夫 上人

このたび 第十七代 平野誠司会長が任期を終え退任されましたが、会長始め役員・会員の方々に教区事業に何かとご協力頂きました事を改めて感謝します。又新しく當間伸師会長が就任されお慶び申し上げます。躍を祈念いたします。

私自身も野中前教区長が突然体調をくずされ、本年一月中旬より教務所に勤務する事になりましたが、教区行政も多種多難な事が山積している気が致します。ただ年間を通じ決まっている行事、数年に回って来る行事、又来年800年大遠忌の特別な行事もありますが、いずれにしても浄青の皆様には多々ご協力頂かねば実現出来ぬ事ばかりです。ご協力を改めてお願い致します。

有徳のさる教区長が云われておりましたが「教化することは大変なことであり、人は言葉だけではついでない事を知ること」と云われておりました。一寺の住職はすべて布教師で

あり、学・不学を問わず、寺の存在の意義と価値を知り努力する責務があると先徳は云われています。三月の浄土宗カレンダーには、「心からの言葉は、心にとどく」とありました。「布教教化の原点は言葉である」と云う事は判りますが、同時に所作威儀・雅楽・聲明・詠唱も大事な教化であります。

大本山増上寺御法主であられた時の中村康隆猥下は、法式は元來生死の危機的状況下に於いて人間の情緒を根底から揺がす、宗教的情念から昇華した一定の表現様式と又、法式の底に流れる宗教的情念の豊かさは、偏に自らの信仰策励によってのみ深められ得るものであると申されております。

全てに精進する事は、むずかしいとは思いますが、僧職を家業と考えずに教師として自覚を持ち、その気持ちを根底に今後益々のご活躍を期待させて頂き、ご挨拶とします。

会長退任挨拶

第十九期浄土宗神奈川教区青年会

第十七代会長

平野 誠司



「楽しかった」今の私の心境です。

二年半前の臨時総会において、第十九期浄土宗神奈川教区青年会・第十七代会長の承認を頂きました。時の経つのは早いもので、今思えばあつという間の二年間でした。その間、私が会長という責務を全う出来ましたのは、諸先輩方のご指導ご支援と、役員・会員の皆様のご理解ご協力のお陰と深く感謝申し上げます。また、私を二年間支えて下さった執行部の皆さん本当にありがとうございます。会長というお話しを頂いてから、意を決めるまで大変に悩み苦しみました。在任中色々な経験をさせていただいた中で、自然に冒頭の言葉が出た次第です。

神浄青第十九期はテーマを「原点復帰」(自省からの出発)とし、宗祖の懐へ帰らせていただく思いを持って各事業を行って参りました。初年度の他宗団見学は、法然上人の原点である比叡山に登り、延暦寺を参拝いたしました。滋賀院門跡にて、天台座主半田孝淳大僧正猊下の御垂示を賜り、

東塔・西塔を巡り、青龍寺において、夜を徹し皆でお念仏をお称えしたことは今も鮮明に心に残っています。

また、この年に神浄青創立三十五周年を迎え、横浜ホテルキャメロットジャパンにて「記念講演会・懇親会」を行い、兵庫県より宝塚ボーイズ監督・奥村幸治氏をお迎えしました。奥村氏は、マリナーズのイチロー選手がオリックス時代、二百十本日本最多安打を達成した時の専属打撃投手で、引退後は少年野球チーム宝塚ボーイズ(中学硬式チーム)を結成し、楽天イーグルス・田中将大投手を育てた方で、イチロー選手や将大投手とのエピソードを交えながらお話し頂き、一流選手の意識の高さをお聞きする事が出来ました。当日は、忘年会を兼ねた懇親会を行い、始めに先亡会員のみ霊に十念を捧げ、先輩方とも懇親を深めました。

次年度には、「神浄青大別時念仏会」を開催し、今回も大勢の檀信徒の皆様にご参加いただき、浄青会員と檀信徒が一体となってお念仏をお称え致しました。お帰りに、「青年会の皆さんのがんばっている姿が見れ、一緒にお念仏が出来て良かった。」

「若いお坊さんの力強いお念仏の声っていいですね」という参加者の声をいただき、意義ある別時会が行えたと実感しました。ただ、この事業に関しては色々なご意見があることは承知しています。浄青がやるべき事業ではないという方もいらっしゃいます。もちろん檀信徒を集めて行うには負担や苦勞があることは間違いないでしょう。しかし、私たちは青年会の一員であると共に、法然上人の弟子の一人です。師匠の教えを広める事は当然の義務です。私たちが檀信徒を集めて別時会を開いたとき

に、法然上人は「お前たちのやることではない」と申されるでしょうか。私個人としては、浄青だから出来るものがそこにはあると思っています。これからも、師が喜んでくださるお念仏の輪が広がることを願っています。

この年の他宗団見学も「原点」に触れる旅をしました。四国に渡り、法然上人も縁のある、弘法大師のご生誕の地・善通寺を参拝し、合わせて宗祖の御遺跡を巡り、そこで「本もの」に出会えた事はこの上ない喜びでした。

最後になりましたが、今期ソフトボール大会を担当して下さった港南組・高座組の皆さんには、グラウンドの確保が難しくなってきた近年ではありますが、すばらしい大会を開催して下さいました。こと、そのご尽力に感謝申し上げます。

職務を終え第二十期當間伸行会長にバトンを渡した今、浄青会員として最後の二年を、神奈川のすばらしい仲間と共に楽しみたいと思っています。二年間本当にありがとうございました。



神浄青ソフトボール大会にて

他宗団見学 報告

前事務局長 藤本 剛史

今年度は真言宗普通寺派総本山普通寺・法然上人御遺跡・金刀比羅宮に参拝となりました。事前に下見を行い、参加者二十六名と共に平成二十二年一月二十八日～二十九日の期間行ってきました。

初日はまず金刀比羅宮に行き自由参拝し、そして普通寺へ行きました。普通寺では御上人方にご案内を頂き、また一般公開していない宝物館まで拝観出来ました。拝観後、法然上人逆修供養塔を参拝しました。

二日目は権堀の井戸がある浄土真宗の正宗寺へ。御上人方より懇切丁寧なご案内を頂き、また法然上人ゆかりの権に触れさせて頂いたり、寺宝の御軸等を間近で拝見させて頂く事も出来ました。続いて生福寺へ参りました。こちらでも御住職よりお話を頂き、また寺宝の御軸を間近で拝見する事が出来ました。そして御廟の参拝もさせて頂きました。次に東高篠の法然堂に行きました。無住のお堂ですが毎日近所の

方々が掃除をしてお参りするという、厚い信仰のある場所でした。

最後に法然寺へ向かい、お勤めの後、ご案内を頂きました。こちらは広大な境内で参拝時間も短かった事もあり、急ぎ足での参拝となってしまいました。

今回は全ての場所において厚い信仰があり、また人々がとても優しくかったです。もう一度行きたい、そんな他宗団見学でした。



普通寺にて

第三回大別時念仏会報告

実行委員長 當間 伸行

平成二十二年十二月二十八日(土)、大本山光明寺様において、「第三回大別時念仏会」を開催しました。各会員が自坊の檀信徒に参加を呼びかけ、会員と檀信徒あわせて二百名近くが参加しました。大殿での開会式にて宮林昭彦台座よりご垂示を賜り、続いてパネルシアター「わかりやすいお仏壇のまつり方」を上演しました。衆

しみながら学んでいただけたと思います。控室に戻り、「お名号札」を作成しました。台下より頂戴したお名号を、観音開きの厚紙に薄墨で印刷し、その上から各自筆ペンでなぞらせていただき、記念品として持ち帰り、各家のお仏壇にまつっていただくものです。昼食後大殿にて、当会OBの齋

藤匡念上人から法話を頂戴し、お念仏のみ教えを、丁寧にお伝えいただきました。続いての別時念仏会では、参加者一同、約二十分、一心にお念仏をお称えし、閉会式では二日を通じご臨席くださった平野仁司初代会長よりご講評を頂戴し、閉会となりました。

この大別時念仏会は、集まった檀信徒の皆様にお念仏の尊さをお伝えすることで「化他」を、「自行」である別時念仏をおつとめすることで参加者が一体となり「和合」を達成できる、自行・化他・和合の「浄青三信条」を、一度に達成できる事業であると思っております。



別時念仏会



お名号札

青 役 員 紹 介

副会長
山本宗純

當間会長の下、第20期神浄青の副会長を務めさせて頂く事になりました。

私が浄青に入会してから、早くも16年が過ぎました。その間、沢山の方々との出会い、様々な事業に参加し勉強させて頂いた事が、自分の中でとても貴重な経験になっています。その浄青に微力ながら何らかの恩返しが出来ればと思い、分不相応ながら副会長の大役を引き受けさせて頂きました。

今期は「精進不断」のテーマの通り、青年僧侶としての素養に磨きをかけ、法然上人のみ教を正しく伝えていくための精進を重ねていけるよう、様々な事業を予定しています。また、平成23年には法然上人800年大遠忌が控えておりますので、忙しい2年間になると思いますが、ひとりでも多くの会員の皆様に参加して頂き、喜んでもらえますよう、執行部一丸となって頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。

このたび、第20期神浄青監事を石川和弘君とともに拝命いたしました。

もとより、当会の監事を務めるような器ではございませんが、及ばずながらも努力を傾注してゆく所存です。

今期神浄青は、當間伸行会長の掲げる、「精進不断」～受け継ぎ、伝えてゆくために～のテーマのもと、さまざまな事業を展開してまいります。

今期の2年目、平成23年に御遠忌正當をお迎えする

にあたり、800年大遠忌記念事業等も組み込まれ、第19期と比べても盛りだくさんな事業内容となっておりますが、会員の皆様におかれましては、ひとりひとりが神浄青を創りあげてゆくという認識を持って、各事業になにとぞ積極的なご参加をいただければと存じております。2年間どうぞよろしくお願ひいたします。

監事
相馬正覚相談役
平野誠司

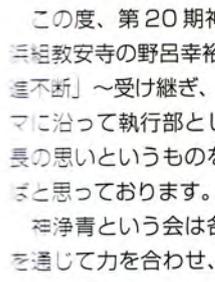
第20期神浄青相談役を務めさせていただきます。

今期、當間伸行会長は伝える事の大切さをテーマに掲げました。「精進不断」努力を惜しまず、法然上人のみ教を、私達浄青なりに伝え発信していこうという思いです。相談役という立場で会長をしっかりと支援し、テーマに基づいた諸事業がよい形で行えるようサポートしていきたいと思ひます。

私も今期で浄青を卒業となります。先輩方が卒業され

る時に「浄青だから出来る事」「浄青の時にしか出来ない事」とよく言われますが、その時期になるとその言葉の意味が本当に良く分かります。数年前までは、神浄青においても全くお役に立てなかった私でありますので、最後の2年も精一杯の恩返しと感謝の気持ちを持って、私自身も楽しみたいと思ひます。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

会計
野呂幸裕

この度、第20期神浄青会計を務めさせていただきます京極教安寺の野呂幸裕でございます。當間会長の下、「精進不断」～受け継ぎ、伝えてゆくために～という活動テーマに沿って執行部として、また会員のひとりとしても会長の思いというものをしっかりと理解して補佐が出来ればと思っております。

神浄青という会は各々、若い青年僧侶たちが事業活動を通じて力を合わせ、それが大きな力となる場ござい

ます。会員ひとりひとりの持っている力、そしてこれから得る事の出来る力と共に前へ前へと進んでいけるように一生懸命、努力し研鑽を積む事が出来ればと思ひますのでより多くの場でのご参加を楽しみにしております。

小松崎上人と共に会計の職も2年間、皆様からのご指導鞭撻を頂戴しながら今期事業を務めてまいりたいと思ひますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

監事
野呂幸裕書記
福田雅宏

今期、當間伸行会長のもと書記を務めさせて頂くことになりました、中郡組南蓮寺の福田雅宏です。2年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

会長のテーマ「精進不断」に沿った浄青活動を通して、自行・化他・和合を、皆様と一緒に、努力・実践・活動させていただこうと思っております。

また、初めての職務ではありますが、自分自身の勉強のためにも努力精進させていただく所存です。

ご迷惑をお掛けするかも知れませんが、宜しくお願い申し上げます。

この度、第20期神浄青編集委員長を務めさせて頂くことになりました。

私自身、もとより浅学非才の身ではございますが、第20期神浄青会長、當間伸行上人のもと「精進不断」～受け継ぎ、伝えてゆくために～というテーマを皆様と共に掲げながら、来年に控えます宗祖法然上人800年大遠

忌に私達の活動が繋がるよう心がけ、編集委員会の皆と共に、今期事業の広報活動に鋭意努力して務めて参りたいと思ひます。皆様のご指導ご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

編集委員長
丸地裕信

「精進不断」當間会長が掲げた今期の活動テーマは、我々青年僧侶は勿論の事、一仏教者として生きて行く上に於いて、必要不可欠なものである事は言うまでもありません。このテーマの下、當間会長は意欲的且つ積極的に多くの事業を展開して参ります。これら諸事業は我々青年僧侶にとって正に有意義なものであり、何一つとして無意義なものはないと確信致します。

また、近年具体化している会員数の減少、青年会活動

への参加率の低下等、取り組むべき問題も山積しておりますが、その全てを真摯に受け止め、魅力ある事業を展開すべく、執行部一同腐心しております。この難しい時期を乗り越える為、先輩である山本副会長と協力し、當間会長を支えて参ります。総勢 120 名の青年会員の皆様、並びに教区内諸大徳の皆様、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

副会長
森本有史



監事
石川和弘

監事の港北組大善寺の石川和弘です。宜しくお願いいたします。

今年自坊で 12 年に一度の寅業師の開帳があり、地元紙に掲載された効果もあってか、予想より多くの方が参拝されました。興味本位の方、お寺詣りの好きな方、悩みを持ち業師様に参拝される方々等々。お話をしてみると本当に十人十色で、いろんなことを考えさせられる機会でした。

さて、今期は宗祖法然上人 800 年大遠忌を迎えるという又とない機会に恵まれました。宗内各機関では様々

な行事が企画されて、会員それぞれにお忙しいところでしょう。

今期神淨青は當間会長が「精進不断」というテーマで、多くの研修・記念事業等が計画されています。会員各々が目先の事にとらわれず将来の自分像を捉えて行動しなければならぬと思います。

やはり「化他」力は研鑽と親睦によって培われるものであると思います。

監事という立場もありますが、一会員として皆様と一緒に研鑽していきたいと思っております。

この度、當間伸行会長の要請を受けて、第 20 期浄土宗神奈川教区青年会における相談役の任を拝命致しました。本来私が受けるべき役職ではありませんが、前会長でありました平野誠司上人の関プロ理事長就任と重なりました事と、前期監事職よりのご縁を頂いたものと思っております。

今期「精進不断」～受け継ぎ、伝えていくために～を活動テーマに掲げる當間会長の浄青活動に対する情熱を受け、私も会員として最後の時間を皆様と共に研鑽を深

めさせて戴きます。

宗祖法然上人 800 年大遠忌を迎える今期、浄土宗僧侶としてこの上無い勝縁を得られる貴重な日々を、どうぞ放逸する事無くご精進下さい。微力ながら青年会という素晴らしい活動の場にひとりでも多くの会員皆様が集える様努めてまいります。2 年間宜しくお願い致します。

相談役
石川参天



会計
小松崎成淳

この度、第 20 期浄土宗神奈川教区青年会の会計を務めることになりました三浦組の小松崎成淳です。第 18 期、第 19 期と事務局員を務めさせて頂き、いろいろと学ばせていただいたつもり・・・でしたが、今期、会計という大役を受けることに正直、戸惑いと不安があります。自分が本当に務まるのか？恐れ多く身に余る役職と思っております。しかし受けた以上、身を引き締めていきたいと思っています。

今期は宗祖法然上人 800 年大遠忌の大切な時期。それと共に當間会長の今期の事業が、それぞれの会員にとってよりプラスになるように執行部のひとりとしても責任を持って取り組んでいきたいと思っております。

野呂上人としっかりタッグを組んで私自身も精進いたします。神淨青活動が円滑に進みますよう精一杯努めさせて頂きます。2 年間宜しくお願いいたします。

今期より浄土宗神奈川教区青年会第 20 期の事務局長に就任致しました鎌倉組の伊香輪一暎です。浅学非才の私のような人間がこのような大役を務められるか大変不安ではありますが、これもひとつの精進と捉え、今期のテーマであります「精進不断」で努めていきたいと思っております。

また自分は第 18 期で事務局員を経験させていただき、その時先輩方から学んだことをいかして、7 名の事務局員と共に當間会長を支えていきたいと思っております。

来年には 800 年大遠忌をひかえ、八百礼拝など 800 年大遠忌を記念した事業を計画しておりますので、ご参加並びにご協力のほど何とぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが前期に引き続き神淨青ホームページを事務局で管理いたします。皆様に見ていただき、ご利用いただけるよう、更新数を増やしていきますので是非御覧になってみてください。

事務局長
伊香輪一暎



事務局員



稲見 公宏



大場 得法



石川 仁恵



瀧川 正人



鈴木 顕祥



石井 康順



一 真成

各組紹介



京浜組



会長
古屋 道正

加藤光成前会長より会長の役を受け継ぎました古屋道正です。どうぞ宜しくお願いします。組の体制は、森本有史副会長、大熊隆史事務局、吉岡了英会計以下七名、総勢十一名で活動していきます。ここ数年減少傾向であった会員数も、このたび専修太志さん、村上誠司さん、野呂宗幸さん、古庄良如さんの四名の新入会員を迎え、装いを新たにしてスタートを切ることができました。

浄土宗総合研究所制作、「法然上人一代記」のパネルシアターの布教実演ができるよう、研究所員の方を講師に招き、研鑽していきたいと思えます。また自行として、法式教師の方のご指導をいただいた後、組会員各寺を巡り、御忌別時念仏会を行います。そして週末には、檀信徒と共に法然上人慶讃法要を行い、事業の集大成としたいと考えています。会員各位の信心をより一層深めていく為の努力目標として、八百礼拝、八万遍のお念仏が修められるように精進していく所存です。

京浜浄青は、いつもほぼ全員が活動に参加し、和気あいあいとしている雰囲気何よりの特徴です。これも先に卒業された諸先輩方のご指導の賜と敬意を払い、このよき伝統を次期へバトンタッチできますよう、微力ながら私自身も奮闘していきたいと思えます。どうぞ皆さんのご協力とご指導をお願いします。

港南組



会長
伊藤 知道

この度、港南浄青会長になりました、専念寺伊藤知道です。よろしくお願ひ致します。今期の港南浄青は「温故知新」「原点回帰」というテーマで活動をしていきたいと考えています。

港南浄青が出来て三十三年経った今、我々の父親達が当時どの様な思いと考えを持って青年会を立ち上げたか。現在活動している私達息子は、その事を理解した上で、なにをしなければならぬのか。との考えで、新たな事業を二つ決めさせていただきました。

その一つが、以前港南浄青では「港南浄青」という新聞を発行していました。廃刊になって大分時間が経っていますが、これまで発行したものを集めて冊子を作り、当時の港南浄青活動を知り、それを伴って、今の私達で新聞を発行したいと思っています。

もう一つが、他宗総本山見学です。有難い事に神奈川県内には、多くの他宗総本山がありますが、私を含めて意外と行った事がなかったりするので、自分達の県内の事くらいは知っておきたいという考えで行います。

後は継続事業であります勅伝講読研修会・法式研修会・港北浄青との家族親睦会・寺院婦人親睦会の開催を予定しています。

いい加減な私が会長になり、会員のみんなには迷惑を掛ける事もあるかと思いますが、初志貫徹の気構えで行っていきたくと思っています。

港北組



会長
柴田 文彦

港北組青年会の会長を務めさせていただく柴田文彦です。

港北組青年会は、昨年度日頃よき御指導いただいている井村真則上人が卒業され、今年度は私と副会長の夏見成貴上人と、同じく副会長の渡辺剛志上人を含む十三名の会員で活動してまいります。各組と協力し合いながら神浄青の活動にも精力的に参加し、自行、化他、和合に努めてまいりたいと思っています。

組内での青年会活動は、昨年度に引き続き年数回の会員研修を行う予定です。研修においては元神浄青会長でもある塩澤智彦先生による法式研修など、年齢を重ねてからは学びにくい青年会ならではの研修を予定しております。

また、港南組青年会との長年にわたり継続している家族親睦会も予定しており、寺院や家族をも含む会員相互の懇親もさらに深めていきたいと思っています。

さらには、来年に宗祖法然上人800年大遠忌を迎えることもあり、私自身会長を務める間に組青年会において宗祖に対する報恩謝徳の事業が出来ればと思っています。

高座組



会長
戸田 順教

この度、村瀬前会長の後任として、高座組浄青の会長を務めさせていただくことになりました戸田順教です。今期の高座浄青は上田真彦・大谷慈通両副会長、鈴木宗仁事務局長以下、総勢十八名の体制となります。

さて、今期は昨期までの継続事業でありまして、法式・詠唱研修会の他、新事業といたしまして、カウンセリング研究会を立ち上げます。

役にNLPカウンセリングを取り入れます。NLPとは一九七〇年代アメリカで開発された実践心理学で、ベトナム帰還兵やその家族が抱える問題の解決に、大きな成果をもたらしました。心理治療の現場で使われた後に、教育・スポーツ・ビジネスの分野でも活用されるようになりました。勝間和代、テニスの元世界ランキング一位アンドレ・アガシ、第四十二代アメリカ大統領ビル・クリントンなど沢山の著名人が使用しています。

私たちがカウンセリングを学ぶことによってお檀家さんとのコミュニケーションがよりスムーズにいくように精進いたします。

「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の精神で各事業に取り組んでまいります。よろしくお願ひ致します。

鎌倉組



会長 舘瀬 弘昌

今年度、鎌倉組では、会員二十三名で、明るく、正しく、仲良く、会を盛り立てていきたいと思えます。

事業としては、柴田哲彦先生にご指導頂き、經典講読研修会、港南組さんとの合同法式研修会、三浦組さんと合同歳末助け合い托鉢を行う予定です。より多くの方に参加しやすい会にしていきたいと思えます。

また、神奈川教区長杯争奪ソフトボール大会の担当組ですので、多くの方々に参加し、満足していただきたく、組一丸となり大会準備をしておりますので、宜しくお願い申し上げます。

神浄青活動に、より多く参加、協力していきたいと思っております。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

中郡組



会長 小山 英紹

今期新入会員に靈山寺 江島尚俊上人を迎え「総勢十六名」の新たな中郡浄青のスタートとなります。中郡浄青の会員は三十五歳以上が多く青年会と言っよりも中年の人が殆どですが、こうして若い（三十過ぎですが）人が入会して頂ける事は非常に有難い事です。年々会員が減って行くなか貴重な新入会員であり活気も出て参ります。

また、浄青会員の少ないなか「神浄青会長」當間伸行上人の下、県には福田雅宏上人と一真上人が、関東は「関フ口理事長」平野誠司上人の下、関東フロックには相馬正寛上人と佐々木元洋上人が、出向して活躍して頂きます。前期吉田会長より「グリーンフケア」を取り

上げ悲嘆をテーマに向き合って勉強してまいりました。その中でもやはり共に「祈る」事は非常に大切な事であると、私も認識をさせて頂きました。その事を踏まえ、今期中郡浄青の主な活動は、光明寺十夜法要でお称え致します引聲阿弥陀経を中心に年に数回、當間浩昭上人を講師としてお招きし、法式研修会を行う予定です。

親睦事業では会員の家族との交流を深めていく事を考えております。前々会長相馬上人より始まりました海外国内の研修、相馬期にはハワイ別院参拝、吉田期には岡山誕生寺参拝、今年には、法然上人二十五霊場の寺院の参拝、来年には海外研修、二万遍別時念仏会、今期会員からの提案で「共に人間ドックに行くこと」などの事業を行って参りたいと思えます。

会長としての身分では御座いませんし、会員を引っ張って行く力も御座いません。何分浅学非才の私ですので浄青会員の力が無いと何も出来ませんが、二年間自分なりに努力精進して参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

三浦組



会長 清水 道善

皆さん、こんにちは。今期三浦組浄青会長を務めます清水道善です。

今期三浦浄青は県浄青副会長の要職に山本宗純師を、そして関フ口事務局員並びに県浄青会計に小松崎成淳師を輩出することとなりました。三浦浄青がこのような形で上部団体と交わることが出来るのは随分久しいことであり、とても喜ばしいことと思っております。皆様には共々宜しく申し上げます。今年度の活動は現役会員が少ないこともあり、期日を決めずに動いていこうと思っております。

ます。内容としては先輩方に依る法式、布教の指導、又得意の懇親会、そしてアジアの旅と企画があります。アジアの旅は昨今の世界情勢を考え、また海外などの長期の都合が悪い会員も多く国内編を予定しています。また見ぬ国内の景色、珍味を求めて旅に出ます。そのほかは県浄青副会長であられます山本宗純師のリクエストにより身体にツラい行をやるうと思っております。何故かそうゆうのがお好みです。そのときは皆さんにもお声かけさせて頂いたいただきますので道連れになって下さい。

来年は800年大遠忌もあり本山関係、宗門関係と行事が目白押しですが、少数精鋭一致団結、頑張つてやっていきます。同門の間として宜しく申し上げます。

小田原組



会長 石川 琢道

この度、岩崎正伸前会長のあとをうけ、小田原組青年会の会長を務めさせて頂いたこととなりました。法然上人800年大遠忌を迎えようとするこの時に、会長の要職を拝命することに身の引き締まる思いです。よろしくお願いたします。

今期、小田原浄青ではこの大遠忌を、法然上人への報恩の想いと共に、八百一年以降の我々小田原浄青ならびに一宗の将来を考える契機としたいと考え、二つの特別事業を予定しています。第一は「浄土一宗の将来を考える」と題し、勉強会ならびに研修旅行を行います。我々は

日常の法務等に忙殺され、なかなか一宗の現状や将来まで考えることは少ないように思われます。大遠忌を機縁として、法然上人の教えを伝えてゆく我が教団について、宗会議員の宮林雄彦上人を講師にお迎えし、宗政の視点から学びたいと思えます。

第二は、会則の改訂です。近年、将来の会員の大減少への対策が課題となっておりました。そこで本年度、専門委員会を設け長期ビジョンに立ちながら、今後の組織や会計のあり方について検討してまいります。そして大遠忌ご正當の年の改訂承認をめざします。

このほか、組と合同で、布教研修会（講師・正村瑛明先生）ならびに特別研修会（林田康順先生）が開催されます。また、十二月には小田原駅構内にて、毎年恒例の歳末助け合い托鉢を実施する予定です。本年は多くの事業が予定されておりますが、有意義な活動をしてまいりたいと思えます。よろしくお願いたします。

浄土宗神奈川教区青年会 平成21年度 事業報告

月	日	内 容	場 所
4月	4日(土)	関プロ浄青御忌詠唱大会(5名)	大本山増上寺
	5日(日)	三大本山・関プロ別時念仏会(5名)	大本山増上寺
	13日(月)	第1回理事会	大本山光明寺
	24日(金)	定期総会(49名・委任状51通)・入会式(1名)・卒業式(4名)	大本山光明寺
5月	14日(木)	第2回理事会	大本山光明寺
6月	1日(月)	機関紙「浄青神奈川」第36号発行	浄土宗神奈川教区青年会
	25日(木)~26日(金)	関プロ総会・研修会(23名)	群馬・伊香保 ホテル木暮
7月	2日(木)	第3回理事会・大本山光明寺開山忌前清掃奉仕(35名)	大本山光明寺
	28日(火)~30日(木)	関東教化センター第62回夏期僧堂(31名)	大本山光明寺
8月	21日(金)	家族親睦会(50名)	座間・宗仲寺
	26日(水)	全浄第5回全国大会(13名)	三重・賢島 宝生苑
9月	17日(木)	第4回理事会	大本山光明寺
10月	1日(木)	関プロ浄青スポーツ交流大会(23名)	栃木・宇都宮 宇都宮体育館
	7日(水)	大本山光明寺十夜前清掃奉仕(53名)	大本山光明寺
	14日(水)	大本山光明寺十夜法要参列(13名)	大本山光明寺
	19日(月)	第5回理事会、スマトラ・サモア地震、フィリピン・ベトナム台風義捐金托鉢(17名)	大本山光明寺、鎌倉・高德院
	29日(木)	三大本山・関プロ別時念仏会(5名)	群馬・館林 善導寺
11月	16日(月)	神奈川教区長杯ソフトボール大会(79名) 担当:高座組	海老名・相模三川公園
	28日(土)	神浄青第3回大別時念仏会(193名)	大本山光明寺
12月	1日(火)	対内紙「NICE BOSE通信」第14号発行	浄土宗神奈川教区青年会
	8日(火)	第6回理事会・忘年会・臨時総会(39名・委任状49通)	横浜・ホテルキャメロットジャパン
1月	22日(金)	第7回理事会・御忌別時念仏会(40名)	大本山光明寺
	28日(木)~29日(金)	他宗団見学(26名)	香川・善通寺、金刀比羅宮等
2月	19日(金)~20日(土)	全浄第35回総合研修会・40周年記念大会(2名)	総本山知恩院・京都ロイヤルホテル
3月	9日(火)	第8回理事会	大本山光明寺
	26日(金)	全浄第6回大別時念仏会(2名)	宮城・定義如来 西方寺

第27回神奈川教区長杯争奪ソフトボール大会

平成21年11月16日、秋晴れのなか県立相模三川公園スポーツ広場(海老名市)に於いて、第27回神奈川教区長杯争奪ソフトボール大会(高座組浄青担当)が開催されました。

総勢79名の参加者が大きな怪我も無く、ソフトボールを楽しむ事が出来ました。

本年度優勝は高座組。準優勝は中郡組。第3位は京浜組。第4位は港南組でした。

最優秀選手賞には斎藤匡念(中郡組阿弥陀寺)選手、敢闘賞には専修大志(京浜組正蔵寺)選手が、それぞれ選ばれました。懇親会は、オークラフロンティアホテル海老名に於いて、教区長代理、歴代会長をはじめ、諸先輩方のご臨席を頂き、和やか且つ有意義に懇親を深めることができました。

編集委員 三浦 康志



平成22年度浄土宗神奈川教区青年会定期総会

平成22年4月19日、大本山光明寺にて「平成22年度浄土宗神奈川教区青年会定期総会」が行われました。大殿にて回願法要後、書院にて総会が開会されました。

第20期常任会長、第19期平野会長の挨拶の後、神奈川教区より夏見邦夫教区長、北邨賢雄教化団長、富田浩雅副団長よりご祝辞、ご挨拶を頂きました。

議長には、会長より高座組村瀬良喜会員が指名され、平成21年度事業報告・同会計報告、平成22年度事業計画案・事業予算案と審議され、共に承認されました。

議長降任後、今期の役員、

理事、関東ブロック浄土宗青年会出向者の紹介があり、次に各組の常任理事による事業・会員紹介の後、卒業会員、新入会員への記念品贈呈がありました。その後、石川、相馬両監事より総括があり、無事閉会致しました。

事務局長 伊香輪 一暁



御忌別時念仏会 報告

平成22年1月22日、大本山光明寺本堂にて神浄青御忌別時念仏会が行われました。

40名の会員参加者と共に、声高らかにお念仏を称えながら、法然上人のご遺徳をあらためて感じ取り、また自らを戒める事が出来ました。

各組選出の代表者より木魚と礼拝の係が交互に出され、途切れなく続く別時会は、神

浄青の固いつながりを連想し、800年大遠忌にむけて一層、会員同士の結束が結ばれたと思います。

前事務局長 藤本 剛史

高座組浄見寺宮腰肇玄会員が平成二十二年四月十九日三十五歳でご遷化されました
眞蓮社成譽上人報阿純心肇玄和尚 莊嚴浄土
会員一同、つつしんでお十念申し上げます

計 報



卒業会員挨拶



港北組 浄泉寺
井村 真則

平成22年度、神奈川浄青総会並びに卒業式のご案内を頂き、改めて驚きと時の流れの速さに寂しさを感じました。
もともと私は、大正大学卒業後、小石川傳通院の職員として勉強させて頂いていましたので、浄青活動にはあまり積極的に参加できませんでした。。
振り返りますと、大変印象的で、忘れられないのは、我が港北組より夏見上人が県浄青の会長に就任された時の2年間ですね。それは、私の立場的に、全面的に協力したい思いもありましたが、関プロ総会、念仏行脚や感謝し隊など一つ一つの事業の内容が充実していて、楽しくお手伝いをさせて頂けたからだと思います。特に会長はじめ、執行部の方々には本当に感謝申し上げます。
これからも、皆様とはお付き合いさせて頂きたく、時には別時念仏会やソフトボール大会に参加させて下さい。どうぞ宜しくお願い申し上げます。
心より神奈川浄青の発展と皆様のご活躍を祈念申し上げます。



港南組 西林寺
大橋 俊史

ついに卒業です。いつのまにかそんな年齢になっていました。
浄青活動で卒業された先輩にはいろいろと教えていただきました。しかし、それ以上に勉強になったのは若い青年会員の新鮮な意見でした。世の中は移り変わります。これからも貴重な意見を聞かせていただき、常に成長していきたいと思っています。
唯一の心残りは、故村山英人上人と一緒に卒業できなかったことです。
明蓮社端嘗上人康純英人和尚莊嚴浄土 合掌 十念。



鎌倉組 貞宗寺
山口 圓譽

この度、お陰様で浄土宗青年会を卒業する事となりました。しかしながら思い起こしてみると活動らしいことは何一つ出来ず、心苦しいばかりでございます。
鎌倉組内に於いては、皆様方に支えられ、お付き合いさせて頂きましたが、それ以外の教区内の活動は、全く持って恥ずかしながら貢献できませんでした。申し訳なく思っております。
これからも浄土宗の一僧侶として、檀信徒の教化に身を置き、邁進していく所存でございます。
末筆ながらこれからも青年会の皆様のご活躍をご祈念申し上げます。有り難うございました。



三浦組 無量寺
進藤 法雄

浄青会に入会させていただき、長いようであつという間の20余年でした。
神浄青では編集委員を2期させて頂きました。また三荒関プロ実行委員長のもとテーブルリーダーをさせて頂きました。深夜までの会合となり大変でしたが、達成感があり今は良い思い出です。
20歳の時先代住職が他界し右も左も分からない私でしたが、この浄青会で諸先輩や沢山の仲間と出会い、多くの事を学ばせていただきました。誠にありがたい組織だと思っております。
卒業に際して、感謝申し上げますとともに神浄青の益々のご発展をお祈り致します。

関プロ出向者紹介



事務局員
佐々木 元洋



事務局次長
相馬 正覚



理事長
平野 誠司



事務局長
藤本 剛史



会計
石川 和弘



事務局員
香川 隆順



事務局員
小松崎 成淳



事務局員
香川 陽祐



事務局員
皆川 演亮



事務局員
坂本 慎成

新入会員紹介

よろしくお願ひします



- ① 江島 尚俊(えじま しょうじゅん)
- ② 昭和52年10月
- ③ 平成12年12月
- ④ 中郡組 雲山寺
- ⑤ A型
- ⑥ 毎日の弁当
- ⑦ 特になし
- ⑧ ギター、各大学の学食巡り
- ⑨ 特になし



- ① 野呂 宗幸(のろ むねゆき)
- ② 昭和56年3月
- ③ 平成18年12月
- ④ 京浜組 教安寺
- ⑤ A型
- ⑥ ラーメン、牛肉
- ⑦ シュウ
- ⑧ 運動、筋トレ
- ⑨ 特になし



- ① 村上 誠司(むらかみ せいし)
- ② 昭和47年4月
- ③ 平成21年12月
- ④ 京浜組 大徳寺
- ⑤ B型
- ⑥ ビール
- ⑦ 小さいおじさん
- ⑧ 映画鑑賞、麻雀
- ⑨ 奮井 優



- ① 古庄 良如(ふるしょう りょうにょ)
- ② 昭和63年11月
- ③ 未成満
- ④ 京浜組 善養寺
- ⑤ B型
- ⑥ 甘い物、ハヤシライス
- ⑦ はに、フルちゃん
- ⑧ 茶道、イラスト
- ⑨ 水谷 豊、ジョニー・デップ



- ① 専修 大志(せんしゅう だいし)
- ② 昭和47年8月
- ③ 未成満
- ④ 京浜組 正蔵寺
- ⑤ A型
- ⑥ 漬物
- ⑦ 熊ちゃん
- ⑧ 読書、テニス
- ⑨ 優香



第20期マスコットキャラクター
ノブの毒

- ① 氏名(僧名)
- ② 生年月
- ③ 加行成満
- ④ 所属寺院
- ⑤ 血液型
- ⑥ 好きな食べ物
- ⑦ ニックネーム
- ⑧ 趣味、特技
- ⑨ 好きな芸能人

平成22年度 浄土宗神奈川教区青年会 事業計画

月	日	内 容	場 所
4月	4日(日)	関プロ浄青御忌詠唱大会	大本山増上寺
	5日(月)	三大本山・関プロ別時念仏会	大本山増上寺
	12日(月)	第1回理事会	大本山光明寺
	19日(月)	定期総会・入会式・卒業式	大本山光明寺
5月	17日(月)	第2回理事会・新旧役員歓送迎会	大本山光明寺・鶴ヶ岡会館
6月	14日(月)～15日(火)	関プロ浄青総会・研修会	大本山増上寺・東京プリンスホテル
	21日(月)	第1回精進道場(宗乗)	大本山光明寺
7月	1日(木)	機関紙「浄青神奈川」第37号発行	浄土宗神奈川教区青年会
	2日(金)	第3回理事会・大本山光明寺開山忌前清掃奉仕	大本山光明寺
	27日(火)～29日(木)	関東教化センター第63回夏期僧堂手伝い	大本山光明寺
8月	26日(木)	全浄第6回全国大会	福井
9月	10日(金)	第4回理事会・第2回精進道場(宗乗)	大本山光明寺
	下旬	神奈川教区長杯ソフトボール大会	担当 鎌倉組
10月	上旬	第5回理事会・大本山光明寺十夜前清掃奉仕	大本山光明寺
	14日(木)	十夜托鉢	大本山光明寺
11月	10日(水)	関プロ浄青スポーツ交流大会 (茨城教区)	つくば市
	下旬	三大本山・関プロ別時念仏会	神奈川教区
12月	1日(水)	対内紙「NICE BOSE通信」第15号発行	浄土宗神奈川教区青年会
	未定	第6回理事会	大本山光明寺
	14日(火)	忘年会・第3回精進道場	未定
1月	未定	第7回理事会	大本山光明寺
	26日(水)～31日(月)	宗祖法然上人800年大遠忌記念念仏行脚協力	浄土宗
2月	7日(月)	宗祖法然上人800年大遠忌記念八百礼拝	大本山光明寺
	9日(水)～10日(木)	全浄第36回総合研修会	兵庫
3月	未定	第8回理事会・第4回精進道場	大本山光明寺

第20期 神浄青 編集委員



大谷 慈通

佐々木 元洋

小俣 慶樹

三浦 正順

三浦 康志

竹内 康文

小川 真弘

香川 隆順

神浄青ホームページ
www.jodo-kks.com

浄土宗神奈川教区青年会

検索



Jodo-shu Youth association of KANAGAWA